出水御仮屋門（いずみおかりやもん）

【所　在　地】　出水市麓町２１０－５
【種　　別】　県指定有形文化財（建造物）
【指定年月日】　平成２３年４月１９日

出水御仮屋門は，島津家久が慶長７(1602)年頃に帖佐から移築したと伝えられている控柱付（ひかえばしらつき）腕木門（うできもん）である。全体の構造は，親柱で棟木を支え，親柱の前後の腕木の長さが等しいという，現存する控柱付腕木門の中では最も古い構造である。また，腕木３本で軒を支える構造は他にないことから貴重である。